

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

次の会話が自然になるように、[]内の語句を並べ替えて英文を完成させましょう。

A: The Seikan Tunnel is the longest tunnel in Japan.

B: (1) [how / is / it / long] ?

A: It's 53.85 kilometers.

B: (2) [how / is / it / long] !

豆知識 雑学コラム

感嘆文、その心は？

先に問題の解説です。(1)は後ろに “It's 53.85 kilometers.” という返答があるので、「それ (= 青函トンネル) の長さを尋ねる疑問文」であるとわかります。並べ替える語句の中にhowがあることに注目すれば、How long is it? という文ができるでしょう。なお、「どれくらい」という意味でhowを使う場合、直後に形容詞や副詞を置かなければなりません。並べ替えでのポイントなので、しっかりおさえておきましょう。

(2)は、感嘆文という種類の文です。「なんて…なんだ」という驚きを表す文を感嘆文と言いますが、英語の感嘆文には次の2種類があります。

- ① How + <形容詞/副詞> + 主語 + 動詞!
- ② What + a [/ an] + <形容詞> + <名詞> + 主語 + 動詞!

今回は並べ替える語句の中にhowがあるため、①の方の形になりますね。したがって、How long it is! が正解です。

(1)も(2)も、How longから始まっていますが、後ろの語順が異なるため、疑問文か感嘆文かが判別できます。違いをしっかりとおさえましょう。一方で、疑問文も感嘆文も、How longから始まっている、という共通点がある、とも言うことができますね。なぜ、これほど語順が似ているのでしょうか。

ここにも、英語の語順のルールが潜んでいます。「新しい情報や長い情報は後ろに置きたがる」というルールは先日紹介しましたが、今回取り上げるのはもう1つの大事なルールです。それは、「言いたいこと・大事なことを先に言う」というものです。

この視点から、2つの文を見てみましょう。(1)の疑問文の場合、「長さが知りたい」ということを言いたいですね。なので、最初に疑問副詞のHowを使ってHow long …としています。一方で、(2)の感嘆文の場合は、「すごく長い」という驚きを言いたいですね。なので、最初に副詞のHowを使ってHow long …としています。つまり、疑問詞を含む疑問文では「何 [/ 誰 / どれくらい / …] か聞きたいから」最初に疑問詞を置き、感嘆文では「驚きを言いたいから」驚きの対象・観点を最初に言うのです。

この「言いたいこと・大事なことを先に言う」というルールでとらえると、スッキリと理解しやすい問題が他にもあります。後日取り上げますので、楽しみにしてください。

【解答】

is it suŋɔŋ mɔh (2)
it is suŋɔŋ mɔh (1)